

AVer SVC

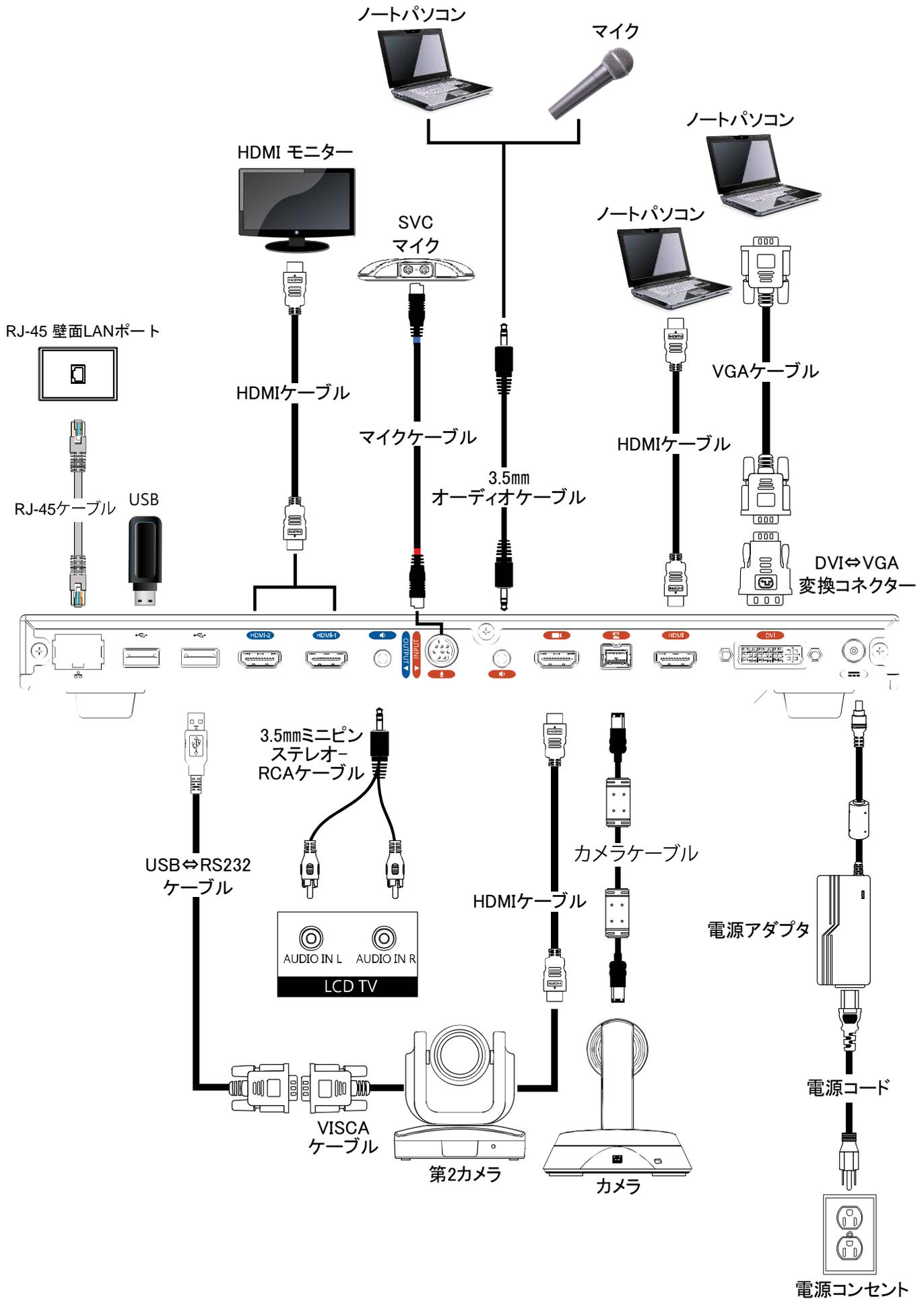
設置用クイックガイド

パッケージ内容

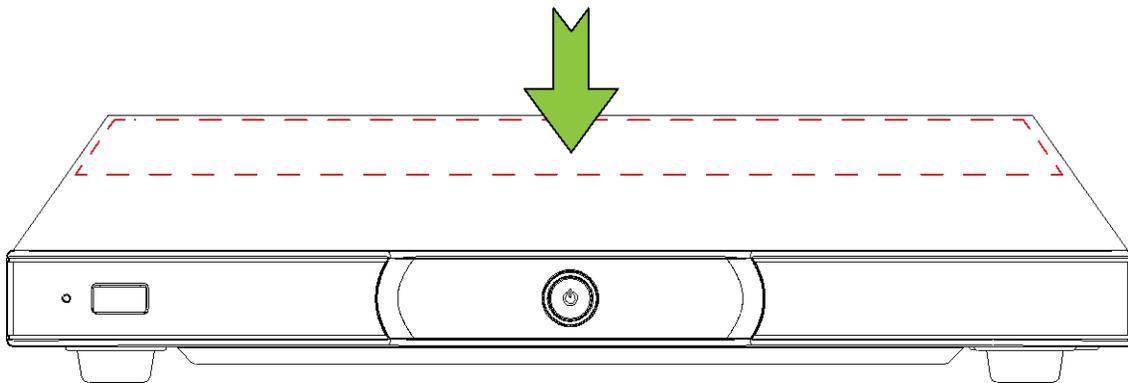
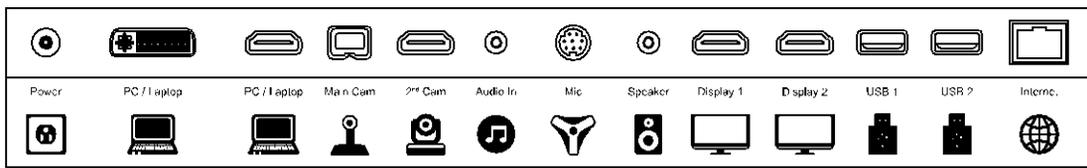


- | | |
|-------------------|-----------------------|
| 1. メインシステム(コーデック) | 10. HDMI ケーブル(3m) x 2 |
| 2. PTZ カメラ | 11. PTZ カメラ Cable(3m) |
| 3. マイク | 12. LAN ケーブル(3m) |
| 4. 赤外線リモコン | 13. 保証書 |
| 5. 電源アダプタ | 14. 設置用クイックガイド |
| 6. 電源コード | 15. 背面パネル用シール |
| 7. VGA ケーブル(1.8m) | 16. 単4型乾電池 |
| 8. DVI-VGA 変換コネクタ | 17. ケーブル固定コネクタ |
| 9. マイクケーブル(5m) | |

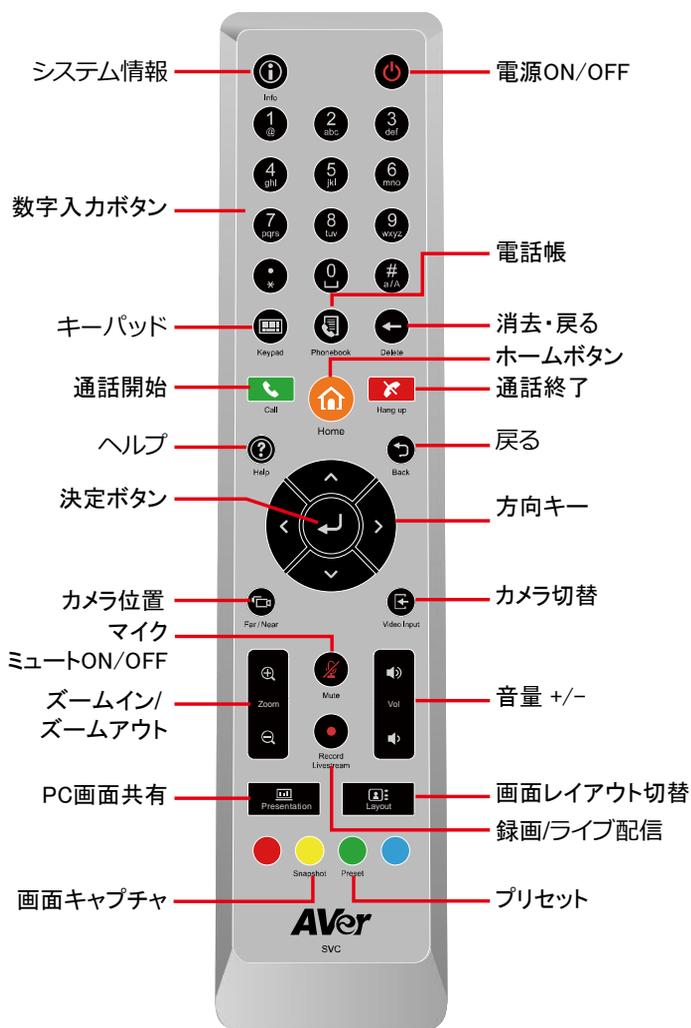
接続構成



付属パネル用シールを天板の後方に貼り付けることで、ケーブルの差し込む場所を簡単に見分けることができます。



赤外線リモコン



ボタン	操作内容
	長押しで 1st / 2nd カメラ操作の切替。
	長押しで着信拒否モードへ切替。
	長押しでモニターのシングル、デュアル出力切替。
	長押しでメニュー表示モニターの切替 (2 台 使用時)。
	長押しで登録した配信メッセージを表示。
	長押しで EZDraw の画面を表示。
	長押しで数字入力と英数字モード切替。

セットアップウィザード

AVer SVC 初回起動時、セットアップウィザードが表示されます。表示内容に従い、設定を行います。設定完了後、SVC の使用を開始することができます。

1. SVC の各機器設置・配線完了後、電源ボタンを押し、起動します。起動後、セットアップウィザード画面が表示されます。

2. 言語: SVC で使用する言語を選択します。

 ボタンを押すと、言語の選択肢が表示されます。
または  を押し、使用する言語を選び  ボタンを押すと言語設定が反映されます。

3. 言語選択後、 ボタンを押し、「次へ」のボタンを選択し  ボタンを押すと次の設定項目へ進みます。

4. 表示されるメッセージに従い、各項目を設定します。
5. “完了”を押すとメニュー画面が表示され使用を開始できます。
6. 付属リモコンの  を押し、通話を開始できます。



ネットワーク設定ガイド

デフォルトの IP アドレス: 192.168.0.1 です。使用を開始する前に SVC の IP アドレスを変更してください。

1. パブリック IP 使用時 (ファイアーウォール外)

2. プライベート IP 使用時 (ファイアーウォール内: ポートフォワーディング時)

→ご利用のファイアーウォール・ポートフォワーディング設定時、「SVC 使用ポート一覧」に記載されているポート番号を解放します。

H.460 ゲートキーパー/ファイアーウォール・トラバーサル

→ご利用のファイアーウォール・ポートフォワーディング設定時、「SVC 使用ポート一覧」に記載されているポート番号を解放します。

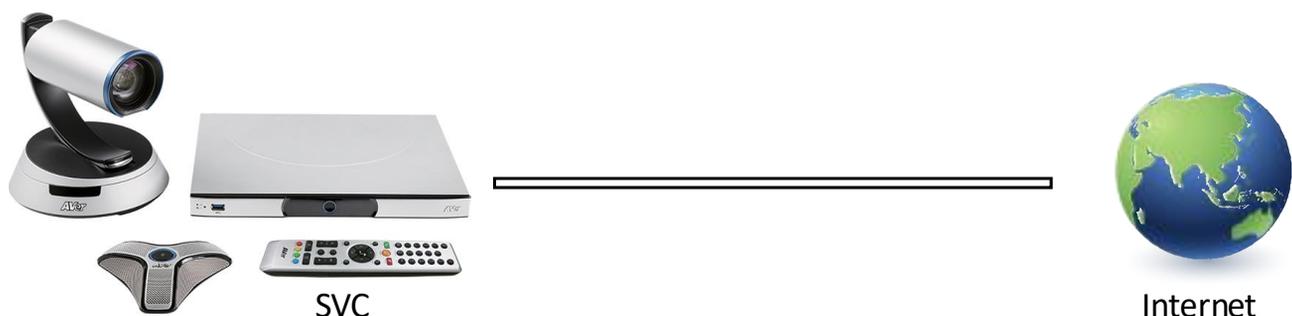
SVC 使用ポート一覧

機器設置前に、ファイアーウォールの設定にて、下記ポートの解放をお願いします。

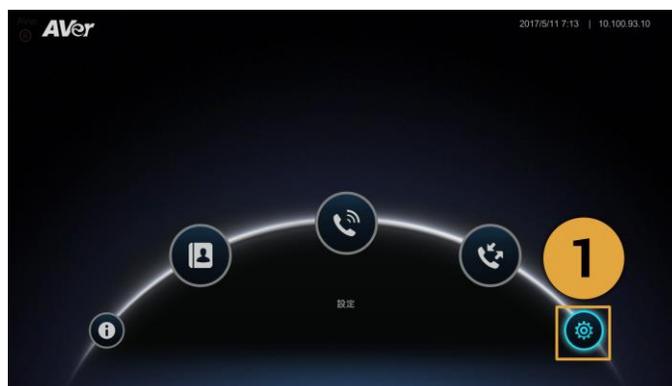
Port	機能	タイプ
1719	ゲートキーパー	UDP
1720	H.323 通話	TCP
30000 ~ 35999	映像・音声・カメラ制御データ通信/FECC	TCP and UDP
80, 443	HTTP/HTTPs インターフェイス(Web 管理ツール使用), EZDraw	TCP
23	Telnet	TCP
5060, 5061	SIP	TCP and UDP TCP
10443	WebRTC	TCP
50000, 50001	ScreenShare, VCLink	TCP

ケース 1 – パブリック IP 使用時 (ファイアーウォール外)

SVC は直接インターネットと接続されている状態です。



1. リモコンの”ホームボタン” > > >  “設定”の項目へ進みます。

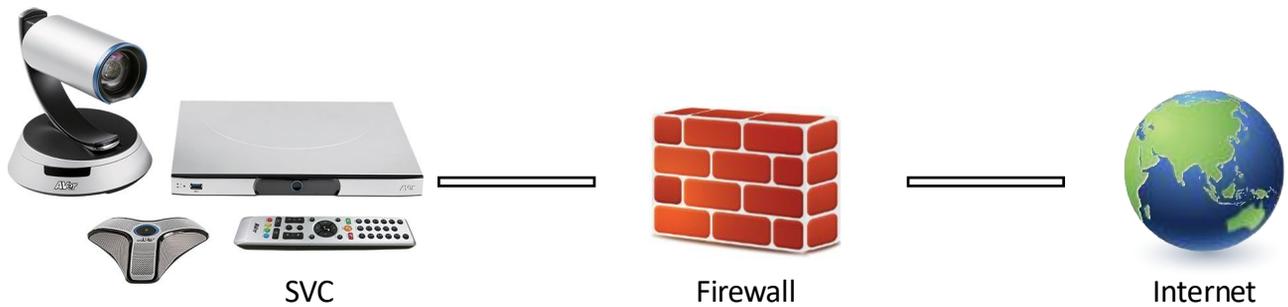


2.  を押し > “ネットワーク”のタブを選択します。
3. “LAN 設定”を選択します。
4. “IP アドレス形式”のドロップダウンリストから“固定 IP”“DHCP”または“PPPoE”を選択します。
 - 固定 IP: “IP アドレス” “サブネットマスク” “デフォルトゲートウェイ”の各項目を入力します。
 - DHCP: DHCP サーバーから IP アドレスを受動取得します。
 - PPPoE: PPPoE 接続に必要なプロバイダから提供された“ユーザー名”と “パスワード”を入力します。
5. “保存”を選択し  で設定を保存します。
6. リモコンの”ホームボタン”を押し、ホーム画面に戻ります。
7. これでセットアップは完了です。
8.  通話開始ボタンを押し、相手側の IP アドレスを入力し、ビデオ通話を開始します。

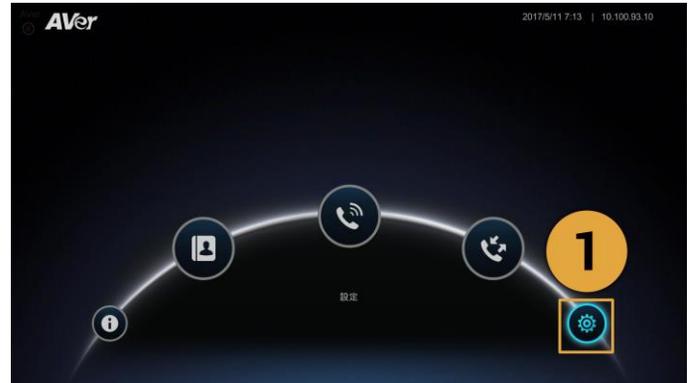


ケース 2 -プライベート IP 使用時 (ファイアーウォール内:ポートフォワーディング時)

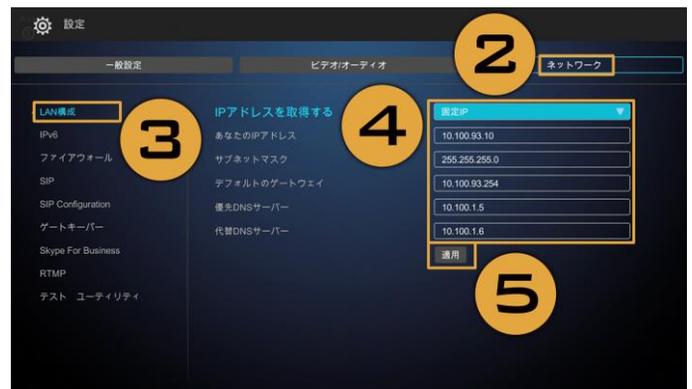
SVC がファイアーウォールを中継し、インターネットに接続されている状態です。



1. リモコンの”ホームボタン” > > >  “設定”の項目へ進みます。



2.  ボタンを押し”ネットワーク”のタブに移動します。
3. “LAN 設定”を選択します。
4. “IP アドレス形式”のドロップダウンリストから、“固定 IP”を選択し“IP アドレス”“サブネットマスク”“デフォルトゲートウェイ”を手動入力します。
5. “保存”を選択し  で設定を保存します。
6.  戻るボタンを押し、1つ前のメニュー選択に戻ります。H.323 ALG 有効の場合、手順9へ進みます。

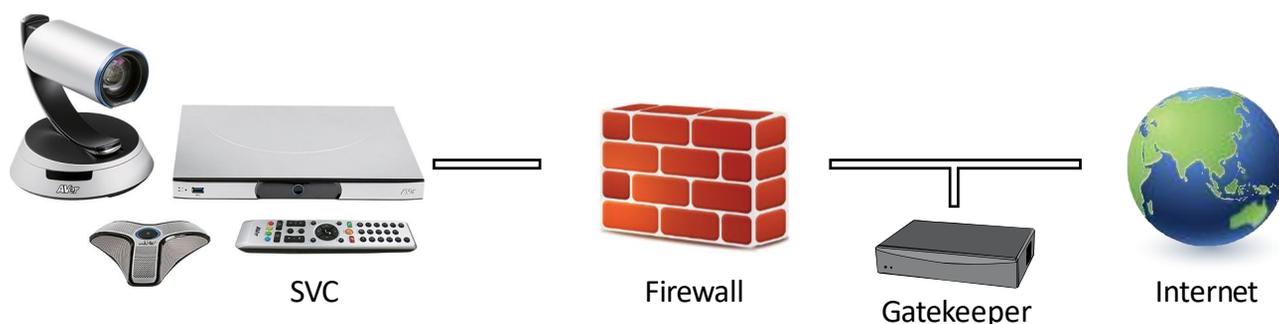


7. 「ネットワーク」の“ファイアーウォール”を選択します。
8. NAT 構成のチェックボックスを有効にし、NAT 構成の項目に“NAT パブリック(WAN) アドレス”を入力します。
9. リモコンの”ホームボタン”を押し、ホーム画面に戻ります。
10. これでセットアップは完了です。
11.  通話開始ボタンを押し、相手先の IP アドレスを入力し、ビデオ通話を開始します。

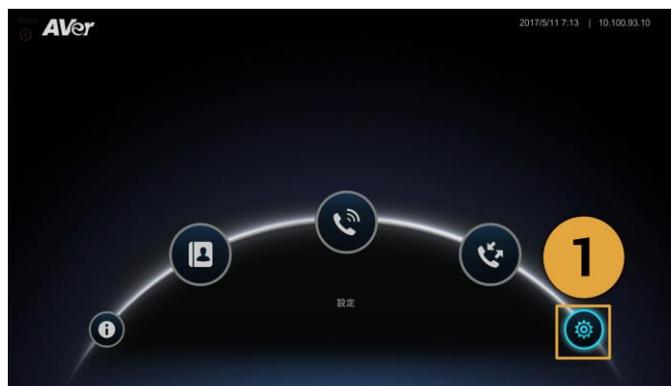


シーン 3 - H.460 ゲートキーパー ・ファイアーウォールトラバーサル

SVC がファイアーウォールを経由し、ファイアーウォールの先にゲートキーパーが設置されている状態です。



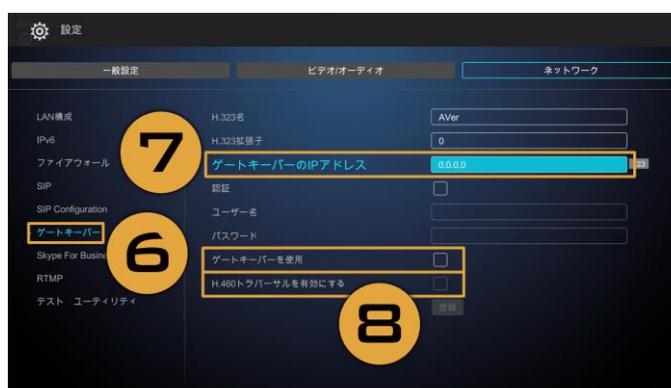
1. リモコンの”ホームボタン” > > >  “設定”の項目へ進みます。



2.  ボタンを押し > “ネットワーク”のタブを選択します。
3. “LAN 設定”を選択します。
4. “IP アドレス形式”のドロップダウンリストから、“固定 IP”を選択し“IP アドレス”“サブネットマスク”“デフォルトゲートウェイ”を手動で入力します。
5. “保存”を選択し  で設定を保存します。



6. ネットワークタブ内の“ゲートキーパー”を選択します。
7. “ゲートキーパー IP アドレス”にゲートキーパーの IP アドレスを入力し、“ゲートキーパーに接続する”のチェックボックスを有効にします。
8. “H.460 ファイアーウォール・トラバーサルを有効にする”のチェックボックスを有効にします。
9. リモコンの”ホームボタン”を押し、ホーム画面に戻ります。
10. これでセットアップは完了です。
11.  通話開始ボタンを押し、相手先の IP アドレスを入力しビデオ通話を開始します。



トラブルシューティング

1. SVC に LAN ケーブルを接続する前に「SVC の IP アドレス設定」を変更してください。デフォルトでは 192.168.0.1 に設定されています。接続したネットワーク上に同一の IP アドレスが割り当てられた端末があると衝突が発生します。
2. ビデオ通話の通信は確立するが、映像または音声は正常に出力されない。
 - ファイアーウォールを設置したネットワーク上で SVC をご利用される場合、ポートフォワーディングが正常に行われているかどうか確認してください。H.323 ALG に対応していないファイアーウォールの場合、SVC の設定項目から「NAT 構成の WAN IP アドレス」を入力してください。
 - SVC ご利用時、固定のパブリック IP アドレスの使用を推奨します。動的パブリック IP アドレスを使用する場合、ご利用のプロバイダーにより定期的に IP アドレスが変更されます。
 - 複数の SVC に対して一つのパブリック IP アドレスを使用しますとルーティングの問題が発生し、ご利用できません。1つの SVC に対して、1つの固定パブリック IP を振り当ててください。
3. 他社製のテレビ会議システムと接続ができない。
 - 相手先の IP アドレスが正しく入力されているか、確認してください。
 - 相手側の拠点のテレビ会議システムの電源が ON になっていることを確認してください。
 - 相手側のネットワークが「他の拠点からの通信」に対してファイアーウォールでブロックを行っているかどうか確認してください。
 - SVC からコールした通話リクエストが相手側の設定で拒否されているかどうかを確認してください。
4. メニュー画面が画面上に表示されない。
 - SVC の配線が、すべて正しく行われていることを確認してください。
 - 全てのケーブルがしっかりと接続され、端子との接触不良がないことを確認してください。
 - SVC を再起動してください。（再起動を実行すると SVC のモニター認識がリセットされます。）
 - リモコンの  ボタンを長押しして下さい。カメラ制御が自拠点側でない場合、OSD メニュー画面は表示されません。
5. IE 9、IE 10 または IE11 でウェブツールが使用できない。
 - a. IE の  (ツール) をクリックします。
 - b. “F12 開発者ツール”を選択します。
 - c. ドキュメントモードを Internet Explorer「9」標準に変更します。
 - d. インターネットサイトの互換表示をオフにします。“ツール” → “互換表示設定”。
 - e. “互換表示設定”のチェックボックスを外し、“閉じる”をクリックします。

より詳細な情報は弊社ウェブサイトの「製品資料・ソフトウェア」の項目から SVC シリーズを検索いただき、「SVC ユーザーマニュアル」をダウンロード、ご利用ください。

「製品資料・ソフトウェア」<http://jp.aver.com/download-center>

クラス A VCCI 基準について

この装置は、クラス A 機器です。この装置を住宅環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

VCCI-A